

海外安全対策情報

【定期報告：4月～6月】

在ケープタウン領事事務所

1 西ケープ州における犯罪傾向

- (1) 観光客を狙った犯罪が多様化, 巧妙化しているため引き続き注意が必要である。
- (2) 在ケープタウン領事事務所管轄地域の2017年4月～6月における邦人に対する被害の報告件数は1件であった。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 殺人

ア 邦人被害者情報なし。

イ 5月30日、ケープタウンの観光名所であるテーブルマウンテンにおいて、女性の死体が発見され、同31日、同じくテーブルマウンテンにおいて、手を縛られ、外傷のある裸の男性の死体が発見された。警察は調査を続けている。(事務所から車で15分程度の距離)

(2) 強盗

邦人被害

ア 5月23日、観光客がケープタウン、シティーホール近くのスーパーマーケットで買い物をしていたところ、斜めがけしていたバッグが後ろに回っており、気づかないうちにバッグが開けられ、財布を盗まれていた。(事務所から徒歩15分程度の距離)

その他の被害事件

ア 4月6日ケープタウン市ミッチェルズ・プレインにおいて、盗難車を運転し、警察から逃亡していた強盗2人が、猛スピードで道路を走行し、信号無視で交差点を横切ったところ、横から来ていた軽トラックにぶつかり、犯人2人が死亡、盗難車の後部座席に乗っていた2人が怪我をおった。軽トラックの運転手は軽傷であった。(事務所から車で30分程度の距離)

イ 5月1日ニヤンガ地区のショッピングセンターで武装強盗による人質立てこもり事件が発生し、10人の職員が人質となった。早朝6時頃、開店準備をしていたところに武装した3人の強盗が押し入った。銃声が飛び交い、約12時間の監禁の後、人質は解放されたが、警備員一人が重体で運ばれ翌日死亡、容疑者の一人もけがで運ばれた。警察は残りの犯人を捜索中である。(事務所から車で25分程度の距離)

- ウ 5月23日夕方頃、ケープタウン市クレアモントのショッピングモール内、MTNという携帯電話ネットワーク小売店で現金、携帯電話、ノートパソコンなどが盗まれた。その前の週には、同モールの Foschini という衣料品店で香水が盗まれる事件があった。MTN に入った強盗は3人とみられ、まだ捕まっていない。(事務所から車で15分程度の距離)
- エ 6月3日午前中、ケープタウン大学キャンパスにおいて Uber 車両が3人の容疑者から銃を突きつけられ、鍵、携帯電話、現金、靴を盗まれ、車を盗まれた。後に警察が盗難車に乗った3人の容疑者を逮捕した。(事務所から車で10分程度の距離)
- オ 6月26日早朝、ケープタウン市のクレアモントにおいて、銀行強盗が発生した。強盗は銀行の屋根から銀行に侵入したとみられ、ATMから現金を盗んだとみられている。金額は公表されていないが、襲われた銀行の代表によれば、顧客情報は盗まれていないという。(事務所から車で15分程度の距離)

(3) 強姦

- ア 邦人被害者情報なし。

(4) その他

- ア 4月12日から、ケープタウンバス会社のストライキがあり、約27万人が影響を受けた。ストライキは3日間続いた。
- イ 4月23日夕方、ケープタウン中心地においてミニバスタクシーが壁にぶつかり、4人が怪我をした。3人が重傷、1人が軽傷だった。1人は車内に閉じ込められ、重機を使って解放された。事故の原因は不明である。(事務所から徒歩10分程度の距離)
- ウ 6月6日夜から8日未明にかけてケープタウンを含む西ケープ州を嵐が襲い、多くの学校が休校、さらに海沿いの道路が一時封鎖され、9人が死亡、約1万人が避難した。西ケープ州のナイズナでは、強風の影響で大火事がおこり、2名の消防士を含む7名が死亡、1万人近くが避難した。
- エ 6月12日夕方、ケープタウン駅構内において列車の遅延に対する不満から、乗客が構内の商店から略奪し、また構内の列車に放火を行った。13日朝はダイヤが大幅に乱れる事態となった。犯人は一人捕まった。(事務所から徒歩5分程度の距離)

3 テロ・爆弾事件発生状況

特になし。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

特になし。

5 対日感情

概ね良好。

6 日系企業の安全に関する諸問題

特になし。

7 日本人安全対策のためにとった具体的措置

(1) 在留邦人へのお知らせ等の発出

不定期ながらも、安全対策に役立つ情報を当事務所より「領事事務所からのお知らせ」としてメールを発出し、在留邦人に対して安全対策情報を発信している。

(2) その他の措置

常日頃より、当地在住の邦人等との意見交換を行い、当地での生活の安全情報の収集に努めている。